

横浜善光寺
留学僧育英会

育英生五人に辞令

十五周年を迎える育英会

横浜善光寺留学僧育英会（黒田武志理事長）の第十五回育英生五人に対する辞令交付式が二月六日午後二時から、善光寺で行なわれた。この育英会は黒田理事長が善光寺開創十五周年の報恩行として設立してから今年で十五周年を迎える。式典に先立って開かれた檀信徒総代会では、善光寺開創三十周年と育英会十五周年の記念事業計画が協議・決定された。

第十五回育英生は、韓国から日本の立正大学に留学している金希泰（キム・ヒテ）さん、台湾のファ・クアン研究所に研究留学するハワイのカルマ・レーシエ・ツオモさん、タイで修行しているバングラデシュのシラモイ・スラマネーラさんが新規採用され、タイで修行中の小田嶋巖雄さんとロスアンゼルス禅センターに派遣されている真野順治さんが継続採用された。これにより昭和六十年度の第一回から今回までに海外へ派遣、または日本に受け入れた育英生は



延べ九十三人。派遣先は十三カ国、受け入れは九カ国・一地域になった。

小田原市の成願寺住職山口春通老師の導師で開山忌法要の後、辞令交付式が行なわれた。宮本延雄理事による経過報告に続いて本尊上供が営まれ、法要後、黒田理事長から育英生に辞令と記念の楯、育英金が一人ずつ手渡された。成願寺の山口住職は「昨年七月にアメリカの禅センターを訪問して育英生が一生懸命に勤めている姿を拝見し、善光寺育英会の素晴らしさを感じた。黒田先生の大きな御心に応えて研鑽されるよう願う」と祝辞を述べた。

また黒田理事長は「育英会も回を重ねること十五回になる。念ずれば花開くと思う。今日まで、仏天の御加護によるものと思う。今日まで地べたを這うようにして十五年やってきた。光陰矢の如しというのが実感だ。すべては皆さまのおかげと感謝している。世界平和のため、仏

法興隆のために、これからも命を捨てる覚悟で頑張りたい」と感謝の言葉を述べた。

なお、檀信徒総代会は、善光寺開創三十周年と育英会十五周年の記念事業として①五月二十八日に横浜プリンスホテルで記念式典を開催②善光寺墓地「横浜やすらぎの里」を開園し十一面観音を建立③道元弾師が留学修行した中国・天童寺へ参拝④秋にタイ・ワットパクナムを訪問⑤十八羅漢の屏風を制作⑥記念出版物の刊行⑦釈迦殿等内外の修復——を決めた。

次に新規採用の三人をご紹介します。

観音信仰とその伝記を研究

金希泰さんは韓国曹溪宗の出家僧。一九九七年に来日し、立正大学で仏教を学んでいる。推薦者は同大学仏教学部長の三友健容教授。日本の研究テーマは「観音信仰とその伝記」を選んでおり、「観音信仰のあるべき姿と、信仰され

ている様々な観音信仰に関する伝記を探し出して、その淵源及び時代思想、また、どのような社会的環境の下で、民衆にどのような影響を与えたか。それぞれの時代の伝記の文献学的調査をして、現在行なわれている観音信仰との対照研究をしたい」と延べている。

中国仏教の思想を究明

ツオモさんは「釈慧空」の法名をもつ仏教徒の女性。現在、ハワイ大学哲学部の博士課程で学位取得のため論文を執筆中で、台北にある仏教研究所「ファ・クアン」で中国語の仏教原典類とその註釈書類を研究することを希望。中国の仏教学者へのインタビューも予定しており、それらを通じて、死と臨終に関する中国仏教の思想と宗教的実践を究明する。

語学はチベット語、日本語、ドイツ語に堪能で、すでに二冊の出版物も上梓している。一九

八七年に「サキャディータ」と称する仏教女性の会を設立。またインドの貧困な女性のための教育プログラムを実践するなど社会的な活動家としても活躍している。

推薦者であるハワイ大学のデビット・チャペル教授は「国際的な仏教婦人の活動における彼女の指導的役割」を高く評価している。

提出論文の中でツオモさんは、仏教が今日、東京でも台北でもバンコクでも危機に瀕していることを指摘し、「今日、仏教が適合性を持つためには、単に世俗的な文化の中にある人々の要求に語りかけ、ストレスの多い物質的な生活のあり方を選ぶ道を準備するだけでなく、同時に民族主義、性差別、環境破壊、そして社会的・経済的不正など現代の社会的問題に積極的に発言しなければならぬ」として、現代世界に仏教の教えと実践が求められていることを主張している。

仏教伝道者として

スラマネーラさんはタイで留学修行し、ブツダサトウイタヤ校で勉強中の青年僧侶。仏教の伝道者として生きることを目指し、「仏陀の教説こそ人類に平和な社会を実現する可能性を与える。仏陀の五戒こそ人類に地球上の平和と友好を回復させる最も重要なものだ」「仏教は人類の幸福のための非暴力、慈悲、平等、憐憫、人類愛などについて我々に普遍的な教戒を与えてくれる世界唯一の宗教である」と仏教普及への情熱を吐露している。



タイ国チェンマイにて